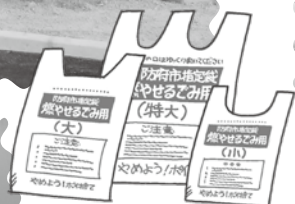


市議会だより No.31

平成25年11月15日



分別しよう!!



9月定例議会

議案の概要 P2~P3
一般質問 P4~P9
平成24年度決算・賛否の討論 P10
上下水道事業決算特別委員会の報告 P10

8月臨時議会 P3
議会モニターからの意見 P9
議会報告会のまとめ P11
議会日誌 P12
12月定例議会の予定 P12

防府音楽祭・街角コンサートを市議会議場で開催 1月10日(金)12時

平成25年 9月 定例議会

9月定例議会は、9月5日～10月4日の会期30日間の日程で開催され、平成24年度一般・特別会計及び上下水道事業会計決算の認定、平成25年度一般会計・特別会計補正予算をはじめ、廃棄物の処理、清掃に関する条例及び廃棄物処理施設設置、管理条例など、議案15件、推薦1件、選任1件、報告3件、認定2件、意見書1件を審議しました。

主な議案等と審議経過の概要をお知らせします。

人事

■人権擁護委員候補者の推薦

再任 桑原文文さん(鞠生町)

■教育委員会委員の選任

再任 鈴木隆子さん(上天神町)

条例

■廃棄物の処理、清掃に関する条例及び廃棄物処理施設設置、管理条例の一部改正

改正の主な内容は問題化している資源ゴミ等の持ち去り行為に対処するための罰則を設け、平成26年4月新施設の稼働を契機として、リサイクル等の実践に取り組み、環境負荷の低減を推進するためのものです。全会一致で可決されました。

予算

■平成25年度一般会計補正予算

2億9,370万6千円を減額し、補正後の予算総額を373億7,562万1千円とする予算案が提出されました。

主なものは、工事計画の見直しによる桑山中学校及び右田小学校改築事業についての減額、山頭火ふるさと館整備予定地土地購入費等4,380万9千円、毛利氏庭園駐車場と潮彩市場防府に電気自動車専用急速充電設備を設置する費用1,348万9千円の追加などです。

決算

■平成24年度一般・特別会計決算を不認定

富海の林道地吉線改良工事に関して疑義がある等の反対意見が出され、賛成10、反対13で不認定となりました。(賛否No.6) 賛否の討論は、10頁をご覧ください。決算は不認定となっても効力に影響は及びませんが、執行部は、政治的、道義的責任を問われることとなります。

■平成24年度上下水道事業決算

市民のライフラインを外国系の企業に委託していることは問題である等の反対意見が出されましたが、賛成20、反対3で認定としました。(賛否No.7)

意見書

■地方税財源の充実確保を求める意見書

地方財政は、社会保障関係費などの財政需要の増加や地方税収の低迷等により、厳しい状況が続いています。

こうした中、基礎自治体である市が、住民サービスやまちづくりを安定的に行うためには、地方税財源の充実確保が不可欠です。

意見書では、具体的な要望事項として、地方交付税の増額による一般財源総額の充実確保と地方税源の充実確保等を国に求めています。

全会一致で可決し、内閣総理大臣、財務大臣、総務大臣等に送付しました。



急速充電設備

山頭火ふるさと館整備事業については、全国随一の山頭火の顕彰・交流施設、自由律俳句の一大拠点にふさわしい施設とするためには、長細く面積も小さい整備予定地では十分な展示スペースや駐車場を確保できないことから、土地の購入経費を減額する修正案が提出されました。

これに対し、形状等には多少の問題もあるが、それらについては今後も善処していくとのことであり、天満宮とうめらすに近く、観光面の回避性を考えれば計画地は最適である、との原案賛成修正案反対の意見も出されました。採決の結果、修正案は賛成11、反対13で否決。(賛否No.3) 原案は賛成多数で可決されました。(賛否No.4)

■平成25年度水道事業会計補正予算

補正内容は、休日、夜間の施設運轉管理業務等の民間業者との委託契約が本年度末で満了となることから、契約更新の手続きを行うための債務負担行為です。

市民生活や地域経済を支える社会的基盤施設を休日、夜間等を全面的に民間業者に委託することは反対との意見が出されましたが、賛成23、反対1で可決しました。(賛否No.5)

8月臨時議会

8月臨時議会が8月9日に開催され、議案3件、承認1件を審議しました。その概要をお知らせします。

市職員給与の減額に関する条例

6月定例議会では市職員給与を減額する条例は賛成9、反対15で否決されましたが、削減額を半分にする形で再提案されたものです。

削減の総額が半分に限り地域経済への影響は緩和され、また政権与党の立場もあるとして、6月議会では反対した議員のうち5名が賛成に転じ、賛成14、反対9、欠席1で条例は可決されました。(賛否No1)

市職員給与は本年9月から来年3月まで平均4.1%減額されます。また、関連の一般会計補正予算も同様に可決されました。(賛否No2)

仮市民プール建設工事の請負契約

制限付一般競争入札により藤本工業(株)・中村技建(株)共同企業が落札し、議会はこの契約を全会一致で認めました。(契約金額4億9,245万円)

老朽化により閉鎖・解体されたスポーツセンタープールの跡地に25mプール、子ども用プール、流水プール等が建設されます。(来年3月完成予定)

賛否が分かれた議案に対する議員の態度

○賛成 ×反対

本会議 賛否No	議案内容	会派・議員名(※議長は除く)																				賛否の合計		議決結果				
		和の会					絆					明政会				公明党		政龍会		日本共産党		市民クラブ			無所属の会			
		今津	清水	田中敏	小林	平田	藤村	和田	安藤	河杉	重川	三原	山田	上田	松村	行重	吉村	高砂	山下	山根	橋本	安村	木村		山本	田中健	久保	賛成
8月臨時会	1 市職員給与の減額に関する条例制定	×	○	○	○	○	○	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	14	9	可決
	2 平成25年度一般会計補正予算(市職員の給与減額に伴う経費追加案)	×	○	○	○	○	○	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	14	9	可決
9月定例会	3 平成25年度一般会計補正予算(山頭火ふるさと館整備予定地購入経費を削除する修正案)	×	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	○	○	○	×	11	13	否決
	4 (原案)	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	○	13	11	可決
	5 平成25年度水道事業会計補正予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	23	1	可決
	6 平成24年度一般・特別会計決算の認定	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	×	10	13	不認定
	7 平成24年度上下水道事業決算の認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	○	20	3

※賛否の態度が異なる議案等を掲載しています。ここに掲載していない19議案は、全会一致で可決しました。

※行重議員は議長のため、通常は採決に加わりません。

※吉村議員は監査委員のため、No6、7の採決には加わりません。

総合交通体系調査特別委員会の報告 (7月29日開催)

前回に引き続き、交通体系の現状を把握するため、駐車場・駐輪場の整備、福祉タクシー、環境配慮型公用車、生活交通について、執行部からの説明を受けました。

「デマンド型乗合タクシー制度が導入されると、福祉タクシー制度と競合する地域が出てくるので、どちらの制度が利用者にとって有利であるか整理しておく必要がある。」等の意見がありました。

デマンド型乗合タクシーの導入については、「高齢化率が高く、買物や通院に不便な小野・大道・富海の一部地域で予約時のみ運行し、複数人で乗り合つことを検討しています。」との説明に対し、「計画では、小野地区は最寄りのバス停までの運行となっているが、JR防府駅までの運行できないのか。」との質疑に対し、「既存のバス路線と競合するコースは認められない」というバス事業者の意見があり、最寄りのバス停までとしています。」との答弁がありました。

今後の委員会の方向性については、交通体系の現状を踏まえ、調査対象の絞り込みをしていくことを決定しました。



Q&A 一般質問



9月定例議会では、16名の議員が市政について質問に立ちました。

質問と答弁の一部を発言順に紹介します。詳細については、会議録を12月上旬に製本しますので、市役所1号館閲覧コーナー、防府図書館でご覧ください。また、防府市議会のホームページでも会議録を見ることができます。

なお、本欄は、議員本人が質疑の内容を要約したものを掲載しております。

災害対応について！

山田 耕治(絆)

問 山口・島根等での豪雨災害で被災地を支援するために職員を派遣しているが、その後の状況は？

市長 公務としての職員派遣は行っていないが、自主的な参加を職員へは促している。また、萩市からの要請で、土木技術職員を派遣する予定。

問 市民の皆様は災害ボランティア参加状況は？

市長 社会福祉協議会を通じて確認したところ、萩市へは団体での参加が、227人、個人での参加は、16人で延べ243人、山口市へは、マツダ株などの4団体で109人、個人での参加が、154人の延べ2663人。



被災地へ行かれるボランティアの皆さん

問 教訓を活かすための派遣された職員との面談

やアンケートは？

総務部長 面談はしていない。アンケートは考えている。

問 庁内で課長以上のボランティア参加は？

総務部長 1日、2〜3人程度の参加。

問 災害時のリスク評価とフローチャートの作成をすべきと思うが、防災危機管理課を設置した後、その様な話し合いや協議は行われたのか？

総務部長 行っていないが、今年度から防府市防災対策庁内推進協議会を設置している。その中で協議していききたい。

問 本市にゆかりのある自治体と「災害時相互応援協定」を締結することだが、近隣自治体と協定を結ぶべきでは？

総務部長 県との協議が必要で、今後の検討課題としたい。

◆その他の質問項目
環境対策について

「山頭火の小径」の整備、学校教育への囲碁活用、企画部の設置について

今津 誠一(和の会)

問 「山頭火ふるさと館」の建設に併せて「山頭火の小径」を整備しては。

市長 「山頭火の小径」の修景整備計画が国に了承されたので、観光客や地元の皆様の利便性等を考慮して「山頭火ふるさと館」と一体化したいイメージで整備したい。

問 囲碁は最近の子どもに不足している「考える力」を養成し、礼儀作法を身に付け、「コミュニケーション能力を高める。囲碁を授業に採り入れては。

教育長 小学校では12校が「クラブ活動(正規の授業)」において年間10時間程度、囲碁及び将棋を行っている。今後、市内の全小・中学校で採り入れることができないか研究したい。

問 来年4月の組織改編で、現在の「企画課」を「企画部」に格上げする予定と聞いている。企画部は行政(組織)の中核的存在で政策の立案と実施に係る極めて重要なポスト。政策の立案には、政策のプロから一般市民に至る多様な政策・意見を採り入れるシステム、また、政策の実施には異なる人材や組織を活用するシステムを構築してもらいたい。

市長 議員提案のシステム等の構築は重要と考えるので、検討してまいります。



G-I-Sの現況と今後について

安藤 二郎（絆）

問 まちづくりにとつて最高のツールと考えられているG-I-Sの現状と、今後の計画についてお尋ねいたします。

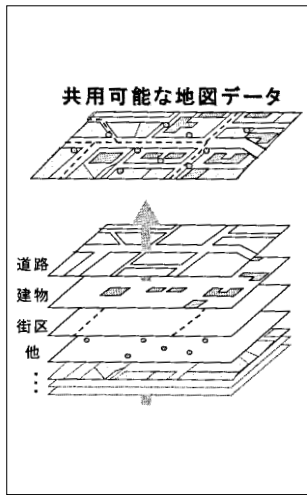
総務部長 現在の活用実態ですが、まず、課税課での固定資産税の適正、公平な課税のため、地番図、航空写真のほか各種情報を賦課資料としております。

次に、下水道整備課では、平成23年4月から、下水道管理台帳システムを導入。管網図、工事情報、取付管情報等一元的に管理することで、下水道の維持管理・整備計画に欠かせない道具です。今後の整備といたしま

しては、都市計画課で、開発審査業務において紙ベースで整備している開発・建築許可台帳及び道路台帳をG-I-S管理システムに整備できるように努力いたします。

他課へのG-I-S管理システム導入にあたっては、デジタルデータへの変換、管理システムの導入等に多額の費用を要しますから、G-I-Sの活用についてのさらなる研究を行い、順次、新規システムを含めまして検討してまいります。

◆その他の質問項目
公務員の再任用について



統合型G I Sへの構成図

「きれいなまち防府」美化推進 「子どもの飛び出し事故」防止対策 「小中学校の通学区」及び「学校選択制」

山下 和明（公明党）

問 萩市が取り組んでいる美化推進制度では、市民や町内会、地元企業に「親代わり」となってもらい、市内の道路、公園、河川等の公共場所の一定区間を「子ども」とみなして定期的に清掃や草取り等をして面倒を見てもらっている。こうしたボランティア活動を新たに導入してはどうか。

市長 ご案内の取り組みを調査、研究し、多くの市民や企業、団体などのボランティアの皆様が活動していただける仕組みづくり、支援策を検討したい。

問 事故事例からして、子どもの飛び出し事故が多いことが分かる。生活道路から公道に出る路面に「パンダマーク」とまれステッカーが貼られていたが、風化して標示が見えないステッカーがほとんどである。市が大量に購入して要請の自治

会に配付して子どもの飛び出し事故防止を推進してはどうか。

市長 当初は無料で配付していたが、交通安全協会の加入率減少により、平成24年4月から有料にしており、同ステッカー配付事業は引き続き交通安全協会に実施していた。

問 小・中学校の通学区域及び学校選択制への取り組みはどうか。

教育長 部活動による通学区の弾力化は、現在のところ難しい。自治会や子ども会の運営等に配慮し、早急な制度の実施は見送ることとした。今後も通学区の問題は検討を継続したい。



とまれステッカー

潮彩市場に道の駅を併設して 三田尻の海に賑わいをつくらう！

松村 学（明政会）

問 三田尻港は平成22年に国の重点港湾から外れ、みなとオアシスの制度が変更廃止され、整備が困難となっていたが、県が大規模地震発生時の海上輸送基地として整備することとなっている。さらに平成28年に環状1号線が完全開通することで、この地域の交通量が2倍になると推計されている。今こそ三田尻港振興のために風光明媚な潮彩市場へ道の駅を併設してはどうか？

市長 本年、潮彩市場を観光の拠点とするために案内看板の設置や駐車場の整備を行う。また秋の定期観光バスの周遊コースに組み込む。7月には県に港湾整備計画の早期実現を要望した。道の駅の登録は、環境が整えば登録に向けた検討もできるので、市制施行80周年など記念事業として考えていきたい。



潮彩市場ほうふ

問 旧荷受組合事務所、セリ場、加工場など老朽化し、未利用で放置されているが、今後の使い道はどう考えているのか？

産業振興部長 セリ場はイベントを考えているが他施設は決定していない。

意見 国の多種多様な補助制度を活用し、多くの道の駅が設置されている。市も工夫を凝らし、他施設の整備を図ってほしい。県内の道の駅20施設中、瀬戸内側は3施設と少ないので、他市から防府に誘客する絶好のチャンスである。

いじめ防止対策について

山根 祐二(公明党)

問 本年9月施行されるいじめ防止対策推進法について本市の所見は。

教育長 国・県の方針を踏まえ、いじめの問題克服防止に関する考え方を、早期発見、重大事態への対処等について手とめる。

問 保護者の責務についてはどう求めるのか。

教育長 加害者側保護者に対し、速やかに事実を伝え、子供との話し合い、被害者への謝罪、指導の必要性の理解を求め、子供の反省を求めるよう協力してもらう。いろいろな場で、いじめの未然防止啓発運動に取り組んでいく。

問 法律に設置することができるかある「いじめ問題対策連絡協議会」は。

教育長 設置を検討している。その場合、メンバーは学校・教育関係者、児童相談所、警察署、法務局、スクールカウンセラー、ソーシャルワーカー



ーが想定される。女性も言みたい。

問 インターネットいじめについての体制は。

教育長 本市では2、3年前からネット掲示板や学校裏サイトに誹謗中傷の事案がある。教育委員会では書き込みを削除できる体制を整えている。

問 過去に重大ないじめの報告があったか。

教育長 過去3年間で生命、心身又は財産に重大な被害が生じたいじめはないが、相当期間学校を欠席するいじめがあった。この事実を重く受け止めている。学校や関係機関と連携して、未然防止、早期解決に取り組み、信頼される学校づくりを推進していく。

市長選前の予算編成は骨格予算で情報公開条例の改正、橋の総点検

田中 健次(市民クラブ)

問 来年5月には市長選があり、下関・萩・柳井・山陽小野田市が今年度じ

たように、新年度予算編成は、政策的経費や新規事業を除いた骨格予算とすべきではないか。

市長 私の任期は来年6月20日までであり、新年度が始まって四半期が経過すること、これまでも市長選の際に骨格予算としなかつたので、通常予算とした。

意見 市長選が今年5月の日置市、6月の和泉市でも骨格予算を編成している。マナーの問題だ。

問 平成11年の情報公開法制定に伴い、情報公開条例の全面改正をしている自治体も多い。県内で最も古くなった本市の条例は改正すべきだ。

総務部長 条例の全部改正は現時点では考えていないが、社会情勢の変化に応じて今後検討したい。

問 NHKの報道では



補強が済んだ人丸橋

「自治体の点検が済んだ橋で重大事故につながる損傷が見逃されており、国は点検の確実な実施を求めの方針」という。

土木都市建設部長 平成20年度から平成23年度に橋長6m以上の240橋の健全度把握調査を「ンサルタラント」に委託し、今年3月に「橋梁長寿命化修繕計画」を策定した。本年度からは橋長6m未満の485橋の調査を進めている。国の通知があった場合は、その指針に従い対応する。

市女性職員の管理職への積極的登用を小・中学校の「暑さ対策」について

山本 久江(日本共産党)

問 国は、男女共同参画社会の形成にあたり、「2020年までに、指導的地位に女性が占める割合が、少なくとも30%程度になるよう期待」という目標を掲げている。

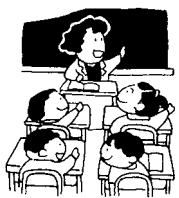
市も、女性職員の管理職登用を積極的に取り組んでほしいが、どうか。

市長 管理職全体の女性職員の割合は、今年度7.2%と確実に増えている。女性職員が政策決定過程に積極的にかかわることが重要であると考え

ており、今後、管理職登用に努めていきたい。

問 平成8年度から、224人も職員が削減されているが、権限移譲等業務量が増大する中、「定員適正化計画」の見直しをすべきでは。

市長 次期定員適正化計画の策定に取り組むが、行政運営の仕組みや手法等の見直しに取り組み、コンパクトで効率的な組



織を構築していきたい。

問 嘱託職員の任用期間は5年を限度としているが、地方公務員法にはこの期間の定めはない。少なくとも、現在、就労している人が1年待たないと再試験が受けられない状況はなくしてほしいが、どうか。

総務部長 県内で今年度から再試験を実施する自治体の状況等調査したい。

問 小・中学校の普通教室への扇風機設置はされたが、特別教室への設置はどうか。また、改築校や必要とされる教室へのエアコン設置はどうか。

教育部長 特別教室への扇風機設置は、年次的に進める。エアコン設置については、各学校の実情に応じて検討したい。

観光振興について 休日保育について

藤村 こそえ(和の会)



問 観光は地域における消費の増加と新たな雇用の創出など幅広い経済効果を持たります。地域の方々が誇りと愛着を持つことができる地域社会を実現することから注目されるようになってきた。市では「市観光振興基本計画」を策定し、観光振興をまちづくりの柱として鋭意取り組まれている。計画には「もう一度訪れてみたくなるまちづくり」と謳っているが、「おもてなしの観光地づくり」という点から市民の皆様にもっと関心を持っていただけるような取り組みを行っているのか。

市長 市は観光振興を最重要施策の一つに掲げている。観光の原点は、観光ホスピタリティの向上に尽きるともいわれている。観光客に喜んでいただけるレベルに向上させるためには市民の皆様が

市の良さを知り郷土への誇りと愛着を持つことが重要で観光ボランティアガイドの育成、ウォーキングマップの作成に取り組みたい。また案内看板等の充実も極めて重要と認識しており積極的な取り組みが必要と考える。

健康福祉部長 休日保育の利用者は年間延べ260人と決して多くはないが、なくてはならない制度。今後も園と連携し現状の把握に努め、事業を実施してまいりたい。

市街地再生、用地取得補助金の増額、 特別警報への取り組み

吉村 弘之(明政会)

問 経済産業省の市街地再生「重点支援区域」制度への市の取り組みは。

市長 同省が平成26年度概算要求で、予算要求した段階であり、正式な通知はないが、市では来年度に向けてエントリーできよう努めていきたい。

問 駅北遊休地の活用計画の状況はどうか。

市長 現在、駅北に7、200mを市有地として保有している。平成24年6月に検討会を設置し、検討しているが、「市公共施設白書」と合わせて活用方針を考

問 市では、本市に進出する民間企業の用地取得に対する補助金として、購入費の30%を補助することとしているが、限度額が1億円となっている。J-T跡地は約10億円となり、補助金の額は3億円となるはずだが、限度額の1億円しか交付

できないこととなる。柔軟な対応をすべきではないか。

市長 これまで限度額を適用した事案はないが、全国で比較しても手厚い補助となっており、当面は現行の制度を維持していきたい。

問 気象庁が運用開始する「特別警報」についての取り組みは。避難場所の総点検を実施すれば、バリアフリー化が必要な場所があるのではないか。

総務部長 「特別警報」が出た場合、直ちに避難勧告、避難指示を発令する必要がある。現在の避難判断基準に特別警報を含めた体制の再点検を考えている。避難場所のバリアフリー化は、状況

を調査して対応していきたい。桑山山頂から防府駅方面を望む



男女共同参画の推進について バス待ち環境の整備について

高砂 朋子(公明党)

問 市は今年度より第4次防府市男女共同参画推進計画に基づき、人権が守られる社会、あらゆる分野への男女共同参画を目指し、様々な施策を推進。①若い人から高齢者の方までの男女間における身体的・性的・経済的・社会的な暴力の根絶に向けての啓発活動、相談体制、関係機関・部署との連携は。②市の施策・方針決定過程への女性の登用拡大は。③仕事と生活の調和(ワーク・ライフ・バランス)の推進は。④男女共同参画センターの設置が必要では。

健康福祉部長 ①DV防止パンフレットや相談カードの配布の拡大により相談窓口を周知。啓発講座も行う。専門相談員のスキルアップを図り、連携も強化、安心して相談していただける体制づくりに取り組む。②各審議会委員への女性登用、

市女性職員の管理職への登用にさらに努める。③男女が家事や育児、介護等の家庭における責任を共に担えるよう啓発。④検討する必要がある。

問 バス乗降時に危険な場所を点検し、整備すべきでは。(写真は岩倉バス停、そばは深さもある用水路で大変危険。市民の要望によりガードパイプが設置された。)



市長 安心安全なバス停環境の整備に努める。
要望 観光地や利用者の多いバス停に上屋・ベンチの設置を。
その他の質問項目
◆防府地域職業訓練センターに福祉の観点を取り入れて事業展開を

高齢者福祉サービスについて 高齢者のバス代を100円に

安村 政治(政龍会)

問 高齢者が乗合バスを利用して病院等に通院する場合、病院までの距離が近い方は負担に感じないが、乗合バスの利便性の悪い地区の方が例えば総合医療センターに通院する場合、往復千円〜二千円のバス代がかかり、経済的に大変という声を多く聞く。

山口市や宇部市は1回の乗車につき100円で乗れるというサービスを、下松市は1回の乗車につき100円を助成するということを行っているが、防府市ではそのような問題をどう考え、今後どのような対応・対策をとられるか。

市長 路線バスの利用が必要な高齢者が自立した生活を維持していくためには、バスの運賃に対する助成が大事な施策の一つであると認識している。下松市では、75歳以上の市民税非課税者で、



だれもが喜んで利用できるバスに

問 公共施設耐震化で、公共施設白書を策定して対応することのだが、結論はいつ出るのか。

総務部長 白書作成は業者委託。その後、職員や市民の参加も含め平成26・27年度で分析、評価する。

問 市庁舎は対震度が著しく低く、倒壊、崩壊の危険性が高いとの結果が出ている。大変危険とされる事務機等の対策は。

総務部長 固定化などの対応は遅れており、急いで対応する。

問 危険性が高い市庁舎の改築までの対策は。

総務部長 今年度建て替えに関する協議、準備を進める。それ以上の対策は考えていない。

問 危険の中で児童生徒は授業を受けており、完了までプレハブ校舎で対応を。

教育部長 敷地面積などから難しい。
問 公会堂は耐用年数も

危険！耐震 公共施設の結論は2年後 カーブミラー設置 発注回数を増し対応！

三原 昭治(絆)

過ぎ、倒壊の危険性が高いことから使用中止を。

教育部長 規模や利用頻度が高く、理解してほしい。今後、検討する。

問 倒壊被害などが出た場合の責任の所在は。

総務部長 施設管理者となると思う。

問 危険箇所へのカーブミラー設置で毎年度、繰越があるが、危険は待ってくれない。早期対応を。

土木都市建設部長 今年度は国の緊急経済対策補正で全て設置する。

問 平成24年度決算で約10億円の赤字。市の預金の財政調整基金は約51億円もあり、市民の安心・安全確保のために使うのは「今でしょよ」。「要望」に対し、随時設置を。

土木都市建設部長 今後は、発注回数を増やしていくことで対応する。



武道授業、災害避難所、 不法投棄について

清水 浩司(和の会)

問 中学校の武道授業における外部指導者の経歴、武道担当教師の資格と指導歴について

教育部長 山口県柔道協会、山口県剣道連盟に所属している人の中から指導協力者を登録している。過去に警察官、刑務官、学校関係者であった方、一般企業等勤務者で、ほとんどの方が現在スポーツで指導している。保健体育の教師が23名おり、武道指導教師は、初段10名、二段が3名である。

市教育委員会では柔道における安全指導研修会を開催し、指導力の向上を図っている。

問 災害避難所について市民は一時避難所と指定避難所の区別がついていないのではないか。早急な看板の設置をお願いしたい。

市長 指定避難所の周知については、市広報やハザードマップに記載して

ある。現在、一時避難所の表示シールを配布するよう作成を進めている。一時避難所と指定避難所の違いについては周知するようにしたい。

問 小野地域では、不法投棄防止対策として監視パトロールや禁止看板の設置を行っているが、残念ながら後を絶たない。対策の強化として、早急な監視カメラの設置を要望する。

市長 監視カメラは有効な方法と思うので、積極的に導入すべく準備を進めている。来年度当初予算に計上し、実施したい。



不法投棄パトロール中

ふるさと納税について

中林 堅造（和の会）

問 新たな寄附を呼び込むために何をしましたか。

市長 「ふるさと寄附金」専用のホームページを開

設し、市の主要事業や寄附金の手続き方法を紹介し、お願いをしてきた。毎年作成しているパンフレットを全国の地元出身者団体や市内の高等学校の同窓会に配布し、周知PRに努めている。防府高等学校の同窓会のひとつである東京九華会の総会には、担当職員が会場に出向くとともに、私も個人的に参加し、お願いしている。更に今年度から新たに

① 制度開始から一度でも寄附をしていただいた方に、旬な観光情報「ふるさと便り」を年4回お届けすることとし、第一号を7月にお届けした。

② 主幹以上の職員から市外、県外にお住まいの親族、親戚、友人の紹介を受け、パンフレットを

送付、寄附金をお願いする取り組みを進めている。

③ 5千円以上の方に、防府ブランド「幸せます」関連商品をお礼の品としてお送りしている。

問 総務省は、「ふるさと納税」について全自治体を対象に実態調査を実施した。9月13日に公表された調査結果では、高級な特産品を贈ることの是非について、自治体の自主性に任せるとの見解を示した。市の方針はどうか。

総務部長 理性ある形でこれからも進めていく。



幸せます関連商品

日本たばこ産業(株)の跡地活用について 選挙投票率向上について

重川 恭年（絆）

問 J-T防府工場跡地が売却されることになったが、ここに至るまでの経緯を知りたい。

市長 平成22年10月28日、突然の工場廃止の発表で驚いた。理由は経営環境の変化と聞いている。

問 市の打撃は大きいと思うが、その後の対応はどの様にしたか。

総務部長 本社訪問や業態転換、閉鎖撤回等のあらゆる方策を行ってきた。

問 売却用地は約14万㎡、約9億8千万円となっている。この広大な用地を早急に活用する対策が必要であると思うがいかがか。

総務部長 同感である。

問 市の所有する事業所用地は平成4年に売却となり、現保有地はゼロである。市が買取り保有し、企業団地等として早期の利活用をすべきと考えるが、いかがか。

市長 市財政の状況や塩

漬けの問題等で困難だ。

問 隣接市町の企業用地に、大きい企業が進出しているがどうか。

総務部長 市町の状況によって異なることである。

要望 跡地買取り企業等がある際、早期稼働に向けた助成政策を要望する。



広大なJ-T防府工場跡地

問 最近の選挙投票率は低い。高める方策をしているか。

選挙管理委員会事務局長 種々努力している。

問 期日前投票の拡充をすべきと思うがいかがか。

選挙管理委員会事務局長 積極的に取組みたい。

問 市長の考えはどうか。

市長 肅々と考えたい。

議会モニターからの意見

モニターから寄せられた意見などの一部を紹介します。
(内容は要約しています。詳しくは、議会ホームページをご覧ください。)

通信内容	市議会回答
市議会ホームページの会議録は、キーワード検索ができるようにしてほしい。便利だけでなく、関心のある事柄から議会活動を知ることができ、議会への理解も深まります。他市でも取り入れており、検討して下さい。	会議録の検索システムについては、県内13市議会中11市議会ですでに導入されており、今後、導入を検討してまいります。
市議会だよりNo.29は、市民参加型アンケートと抽選のプレゼントが、よい企画だと思います。幸せますグッズのプレゼントもほしい方が多いのでは。議会に関心をもってもらうため、このような企画は続けてほしい。 議会用語の解説もよかったが、表紙写真のレイアウトに工夫があるととっとよかった。	初めてでしたが、73名からアンケートの回答がありました。幸せますグッズは、防府商工会議所に提供していただき、感謝しております。今後も、こうした企画を検討します。 親しみやすく、わかりやすい議会だよりとするため、今後も改善します。

平成24年度決算・賛否の討論

■決算承認(賛成)

田中敏靖(和の会) 市民の要望が実施された決算と判断している。防犯灯のLED化、公共施設の耐震化調査、学校の耐震化も着々と進んでいる。

林道地吉線の改良工事は、執行部も業者も何ら責任は無い。公共工事標準請負約款では、工事現場の形状、自然的な施工条件等で実際と差があった場合には変更もやむを得ないとしている。昨年8月の議会産業建設委員会の調査報告書でもやむを得ないとしており、承認します。

高砂朋子(公明党) 以前から主張・要望してきた産環境の確保、5歳児発達相談・予防接種の実施等、子育て、健康、高齢・障害福祉、防災等の予算が執行されており、評価し、承認します。

■決算不承認(反対)

松村 学(明政会) 林道地吉線改良工事は、平成4年より20年間で、大規模な崩落が3度起こったのは初めてで、以下により不承認とする。①業者が法面を急角度に切り間違えたことの疑義が払拭できない。雪崩盤が工事中に発見された時点でボーリング調査をすべきであったが、業者も市も何の対応もしていない。②そのため、第3次災害を引き起こし、補修工事と地質調査の経費が、無駄となり、今後も本格調査、抑制工等で予算が

必要となる。③工事が完成していない状態で、完成検査、変更契約され、業者に工事費が支払われているがその金額に疑義がある。

木村一彦(日本共産党) 行政改革の名で住民サービスの縮減、業務の民間委託が進んだ。職員の削減は進み、負担は増大し、市民サービスに支障をきたしている。他方、非正規職員が増大し、「官製ワーキングプア」を生む要因にもなっている。

国民健康保険料は所得の10%を超え、市民の負担は耐え難い。決算では、国が示す基準を超える余裕があり、保険料の引き下げにまわすべき。さらに、介護保険料の値上げ、後期高齢者医療の負担率上昇がされ、更なる負担を強いる。以上の点で認定できない。

田中健次(市民クラブ) 国民健康保険は一般会計からの繰入を増やして保険料の軽減を図るべき。介護保険料が約20%アップされ、市民に負担をしいるもの、後期高齢者医療は保険料率が引上げられているほか多くの問題があり認められない。

林道地吉線は、住民訴訟が進められており、現状では判断がつかない。

久保潤爾(無所属の会) 林道地吉線改良工事は、工事契約を変更し、当初よりも小さい内容での工事完了にもかかわらず、契約変更前と同額の代金が支払われ、執行部の説明に疑義が残る。

上下水道事業決算特別委員会の報告 (9月10日開催)

■未給水地区の整備

・上石田、上敷山、上坂本地区は、順次計画的に整備を進めていきます。
・江泊小浜地区は、本管から相当距離があるため、水道管の布設は難しいと考えています。

・小野地区は、管路布設に莫大な投資が必要なことから、整備計画には至っておりません。

■老朽管の敷設替え

・石綿セメント管の敷設替えについては、平成24年度までの解消を目指していましたが、柳川土手部分と富海地区国道2号付近の2カ所が未解消となっています。今後、国や県と連携して早急に対応していきます。

・法定耐用年数の40年を超えた老朽管については、市民生活に直結する箇所を優先的に、国庫補助を受けながら、敷設替えの整備を進めていきます。



■企業債残高

・企業債残高は、中期計画の予定では、平成31年度末の残高を約95億円とすることを目標にしています。

視察報告

総務委員会 (8月6日~8日)

企業誘致(三重県四日市市) 定住促進事業(大阪府高槻市) 地域分権制度の推進(大阪府池田市)

四日市市で知的集約型産業構造の転換を図った企業誘致の取り組みについて視察を行いました。多くの企業は国内から海外へ安価な生産ラインを求めており、どう永続的に企業を誘致するかが課題ですが、研究所や研究者を誘致する奨励制度により、マザー工場化することで撤退を防止、また年間500社程度の細やかな企業相談を行っています。



高槻市マスコットキャラクター「はたん」

高槻市の都市型定住促進事業の視察を行いました。街のキャラクター「はたん」を活用し、メディアを使って、街全体のイメージアップを図り、街の魅力やメリットを情報発信し、他市との差別化を図っています。

池田市の地域分権制度の視察を行いました。「自分たちのまちは自分たちでつくろう」を合言葉に個人住民税1%の7千万円の予算提案を地区に委ね、住民自ら事業化を行っており、その結果、予算執行の効率化と住民の自主性が高められています。

議会報告会

市民に開かれた議会へ



行政への意見と市執行部の回答

本年度第1回議会報告会(5月9日～17日)で出されたご意見等のうち、行政への意見と市執行部の回答を広報編集委員会でご要約しました。詳しくは、議会ホームページをご覧ください。

野島離島航路助成

問 離島航路利用券は、月1往復分しかなく、通院等には枚数が少ない。年24枚から48枚へ増やしてほしい。また、お墓参り等で、島を離れた親戚や家族も利用できないか。

答 離島航路の助成は、野島定期航路が野島と本土を結ぶ唯一の公共交通機関であり、島民の本土への買物や通院の航路運賃軽減のため、平成23年度に設け、利用券の交付枚数は、平成23年度の年間1人12枚から平成24



レインボーあかね

問 西田中市営住宅に「海拔表示」をしてほしい。
答 海拔表示は、昨年度、指定避難所と一次避難所のすべて及び市役所本庁舎、上下水道局、消防本部、クリーンセンター、

市営住宅に海拔表示を

度24枚に増やしました。交付枚数を増やすことは、野島の地域事情と他の地域(公共交通機関の運賃など)とのバランスを考慮し、検討します。離島航路利用券を使用できる人の範囲は、平成23年度は本人だけでしたが、平成24年度から、住民票同一世帯の家族の使用も可能となりました。この制度は、島民の買物や通院の航路運賃軽減であり、島外の親戚や家族の利用は適当でないと考えます。



西田中市営住宅

市保育所等へ表示しました。今後は、特に低地の公的施設等への海拔表示実施を考慮しており、ご要望の市営住宅も検討します。

1人暮らし高齢者の見守りネットワーク

問 高齢者の孤独死を防ぐため、1人暮らしで65歳以上の高齢者を対象にした「新聞配達員、水道電気検針者」等々で組織する見守りネットワークによる「あんしん見守りシステム事業」を考えてほしい。
答 近年、民生委員、福祉員、友愛訪問員をはじめ、地域による高齢者の見守り活動とともに、家庭を訪問される事業者等との連携による見守りも有効です。昨年度、水道・

電気・ガス・郵便の公益サービス事業者へ業務中の異常について、市への連絡をお願いしました。今後、新聞配達や宅配業者等にも、同様にお願ひしていきます。

後期高齢者医療制度で人間ドックの利用を

問 後期高齢者医療制度では、人間ドックが利用できない。国民健康保険と同様に人間ドックを利用できないか。
答 後期高齢者医療制度の保険者「県後期高齢者医療広域連合」との事務折衝では、人間ドックの実施は難しいという回答でした。なお、広域連合実施の健康診査と併せて、市実施の「がん検診」を組み合わせれば、人間ドックに近い検査内容となります。

雨水対策を

問 大雨時期に主要幹線から流出する水と用水路の増水が競合し、雨水排水機能を果たしていない。公園道路等の公共施設に地下貯水槽設置を要望する。また、雨水貯留タンク、浸透ます設置に補助制度の導入をお願いしたい。
答 浸水被害が頻繁な地域では、公共施設への雨水貯留タンクや浸透ますの設置等が、有効な手段です。現在、公共施設にこうした設備は設置していませんが、雨水対策上、極めて重要であり、有効な方策や効果等を考えていきます。補助金制度の導入は、他自治体の状況や制度の内容を参考に、調査・研究します。

茜島シーサイドスクールの存続を

問 野島の小・中学校の存続を引き続きお願いしたい。
答 平成26年度も茜島シーサイドスクール事業は実施します。

また、平成27年度以降も実施の方向で検討し、希望する児童生徒が在籍すれば、県教育委員会の協力を得て、野島小・中学校は存続できます。

議会日誌

8月

- 5日 議会運営委員会
- 6日 総務委員会行政視察(～8日)
- 7日 議会改革の視察受け入れ(兵庫県小野市)
- 9日 臨時議会
全員協議会
- 12日 山頭火ふるさと館検討協議会
- 19日 第14回山口県市議会議員研修会(宇部市)
- 20日 全員協議会
- 22日 環境経済委員会現地視察
(サイクリングターミナルほか)
- 29日 議会改革推進協議会

9月

- 2日 議会運営委員会
- 5日 9月定例会開会
広報編集委員会
- 8日 山頭火ふるさと館整備予定地視察
- 10日 上下水道事業決算特別委員会
- 11日 本会議(一般質問)
- 12日 本会議(一般質問)
- 13日 本会議(一般質問)
- 17日 本会議(一般質問)
議会運営委員会
- 19日 予算委員会(全体会)
- 20日 総務・教育厚生・環境経済委員会・予算
委員会(分科会)
環境経済委員会現地視察(林道地吉線)
- 25日 一般・特別会計決算特別委員会(総務)
- 26日 一般・特別会計決算特別委員会(教育厚生)
- 27日 一般・特別会計決算特別委員会(環境経済)

10月

- 1日 予算委員会(全体会)
- 3日 議会運営委員会
- 4日 9月定例会閉会
広報編集委員会
- 10日 議会改革推進協議会
- 15日 中小企業振興基本条例検討協議会
- 16日 環境経済委員会現地視察(クリーンセンター)
広報編集委員会
- 17日 全員協議会
議会改革の視察受け入れ(鹿児島県始良市)
- 21日 議会改革推進協議会
- 22日 全員協議会
総務委員会(所管事務調査)
広報編集委員会
- 23日 教育厚生委員会行政視察(～25日)
- 28日 議会改革推進協議会
- 29日 議会改革の視察受け入れ(秋田県大館市)
- 30日 会派代表者会議
広報編集委員会
- 31日 議会改革推進協議会

12月定例議会の予定

- 2日 本会議(開会)
- 5日 本会議(一般質問)
- 6日 本会議(一般質問)
- 9日 本会議(一般質問)
- 10日 本会議(一般質問)
- 12日 予算委員会(全体会)
- 13日 常任委員会・予算委員会分科会(総務)
- 16日 常任委員会・予算委員会分科会(教育厚生)
- 17日 常任委員会・予算委員会分科会(環境経済)
- 19日 予算委員会(全体会)
- 25日 本会議(閉会)

会議の開会時刻は、午前10時です。

なお、日程及び開会時刻は変更になる場合があります。
詳しくは議会事務局までお問い合わせください。

議会事務局 TEL 25-2182

防府音楽祭 オープニング街角コンサート

1月10日(金) 12:00～ 市議会棟議場
弦楽五重奏(田中雅弘 他)
ぜひご来場ください。



編集後記 (表紙の説明)

表紙は、10月17日の環境経済委員会現地視察(クリーンセンター)の様子を紹介するものです。建設中の廃棄物処理施設の視察という事で、当該委員会だけでなく21人の議員が参加しました。

表紙の左上写真はメタンガス発酵槽(2系列)で、生ごみ等からメタンガスを発生させ、これを発電等に使用します。右上の写真の背後に写っている大きな建物は可燃ごみを受け入れ焼却する処理施設で、左下の写真は危険・不燃・粗大ごみの確認ヤード、右下の写真は資源ごみ処理ラインです。

親しまれ読みやすい紙面となるよう心がけてきましたが、1年たち、現在の委員が編集するのは今号で最後となります。次号から新体制になります。引き続きよろしくお願い致します。



議会広報編集委員会

◎田中健次 木村一彦

○藤村こずえ 平田豊民

安藤二郎 山根祐二

上田和夫

(◎)委員長、(○)副委員長